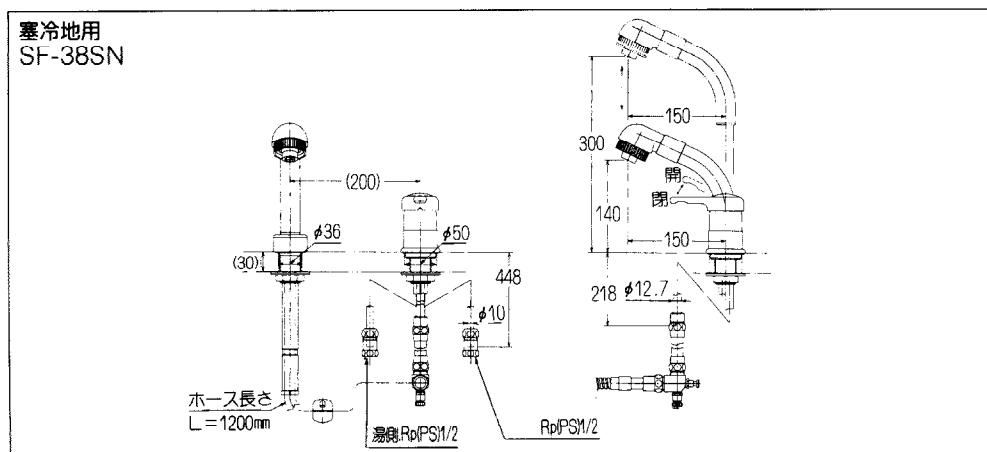
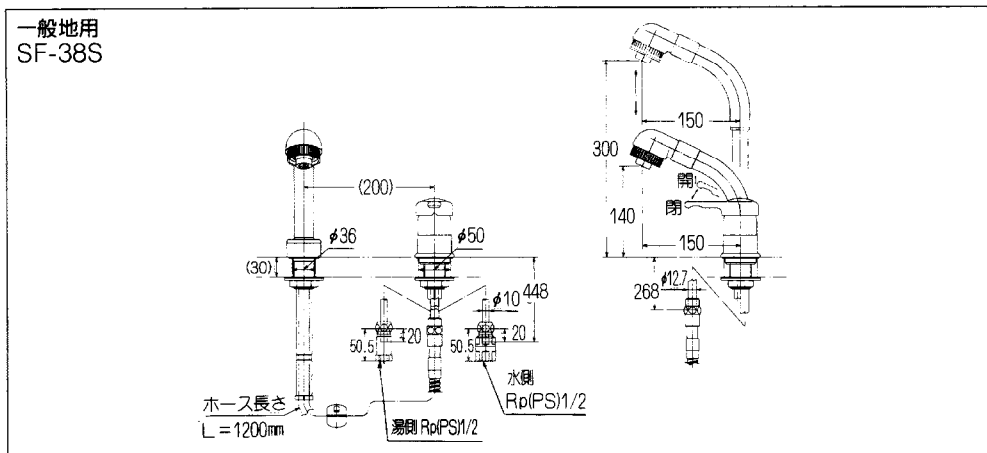
洗髪洗面器用シングルレバー混合水栓

一般地用 SF-38S SF-38SJ
寒冷地用 SF-38SN SF-38SJN

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●商品図

※吐水口側の穴あけ寸法はϕ36±2、ハンドル側はϕ49.5〜51で行ってください。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注　意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●使用条件

●給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合〕

給水圧力 { 最低必要圧力……A＋0.03MPa｛0.3kgf/㎠｝
最高圧力…………0.74MPa｛7.5kgf/㎠｝

Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

●測定条件
※湯側ハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度42℃）によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の設定は、最高温設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕

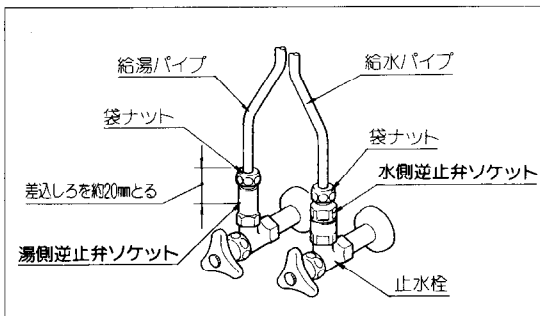
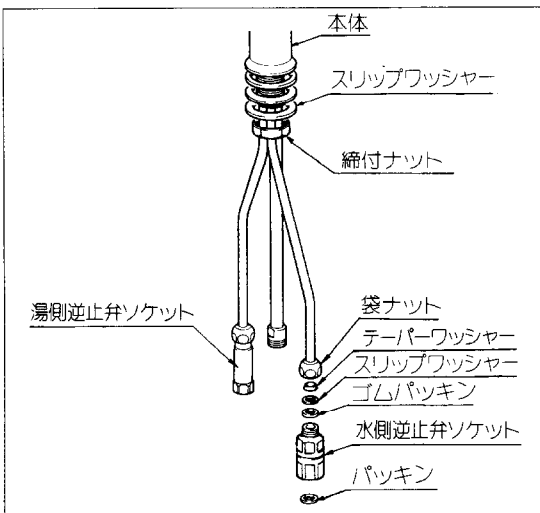
給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……0.05MPa｛0.5kgf/㎠｝
最高圧力…………0.74MPa｛7.5kgf/㎠｝

●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。
●給水圧力が0.74MPa｛7.5kgf/㎠｝を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で0.20MPa｛2kgf/㎠｝程度に減圧してください。
●給湯に**蒸気**は使用できません。

●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
　※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
　※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●取付けに必要な専用工具（KG－9）を用意してください。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
　※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）を設けてください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。
●給水・給湯用止水栓の取出位置は化粧台の施工寸法に準じてください。
●給水・給湯パイプ抜け防止のために、接続する給水・給湯配管は、確実に壁または床に固定してください。

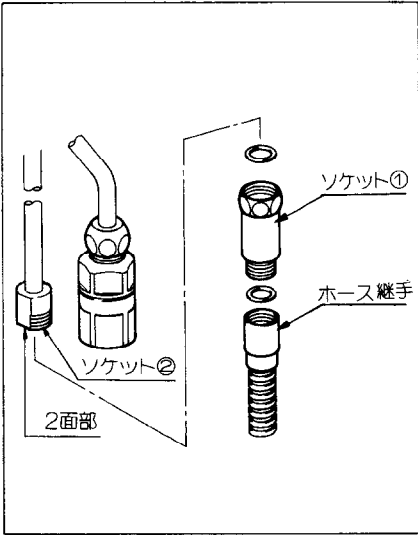
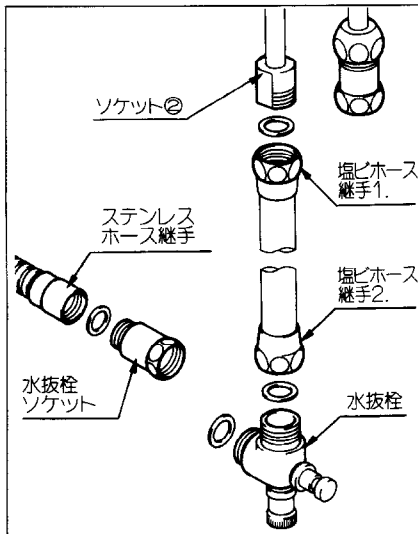
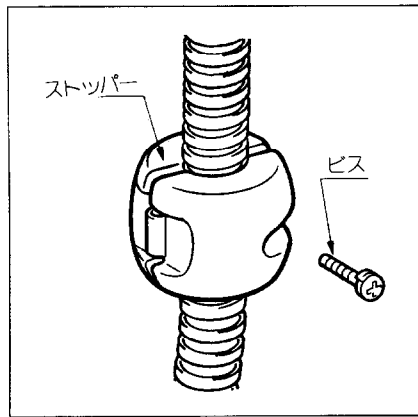
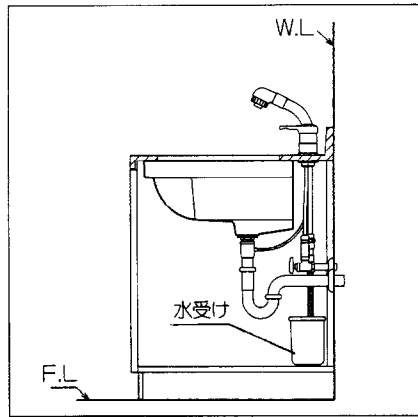
●施工方法

1．水栓本体が正面を向くように仮固定します。 給水・給湯用止水栓の位置を考慮して給水・給湯パイプを曲げ広げます。
　※このとき、差込部の直管部をできるだけ長くとってください。

2．逆止弁ソケットを止水栓本体に仮固定し、給水・給湯パイプの逆止弁ソケットへの差込しろ(約20㎜)をとり、パイプを切断します。
　※逆止弁ソケットは湯水所定のソケットを取り付けてください
　逆に取り付けると機能しません。
3．給水・給湯パイプを逆止弁ソケットに差し込んでから本体を固定します。
　※水栓本体の固定には別売の専用工具（KG－9）を使用し、十分締め付けてください。

株式会社INAX

本社 ☎0569-35-2700	札幌支社 ☎011-271-1701	東北支社 ☎022-263-1710	東京支社 ☎03-5541-7111	西東京支社 ☎0425-27-3341
横浜支社 ☎045-242-1710	千葉支社 ☎043-227-8171	埼玉支社 ☎048-668-1177	東関東支社 ☎0286-37-3378	関越支社 ☎0273-27-1793
甲信支社 ☎0263-36-2166	名古屋支社 ☎052-201-1717	静岡支社 ☎054-251-1710	北陸支社 ☎0762-64-1710	大阪支社 ☎ 06-539-3500
京滋支社 ☎075-222-1794	広島支社 ☎082-223-1710	四国支社 ☎0878-21-1701	福岡支社 ☎092-471-1710	南九州支社 ☎096-322-1794

4．給水・給湯パイプを差し込んだまま逆止弁ソケットを止水栓にねじ込み固定します。
5．袋ナットを締め付けます。 この時、給水・給湯パイプを押し込み手締め後、工具で強く締め付け（約１回転）ます。
6．吐水口部の固定
※吐水口台座の固定には別売の専用工具（KG－９）を使用し、十分締め付けてください。

7．ホースの取付け
〔一般地用(SF-38S)の場合〕
(1)ソケット①をソケット②に接続します。
※パイプ部がねじれないようソケット②の２面部をスパナ等で保持して締め付けてください。
(2)ホース継手を逆止弁ソケットに接続します。
(3)ホース取付後、ホースにねじれのないことを確認します。

〔寒冷地用(SF-38SN)の場合〕
(1)塩ビホース継手１をソケット②に接続します。
※パイプ部がねじれないようソケット②の２面部をスパナ等で保持して締め付けてください。
(2)塩ビホース継手２を水抜栓に接続します。
※あらかじめ水抜栓に水抜栓ソケットを接続しておいてください。
(3)ステンレス継手を水抜栓ソケットに接続します。
(4)ホース取付後ホースにねじれのないことを確認します。

8．ストッパーの取付け
(1)ホースの引出し長さが約400㎜になるようにストッパーを取り付けます。
※ホースの赤テープの位置に取り付けてください。
(2)プラスのドライバーでビスを締め付けます。

9．水受けの設置
使用中ホースを伝わって水が侵入することがありますので必ず水受け(別売）を設けます。

●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。
※この商品は、水を急に止めるときに発生する配管への衝撃をやわらげる機能が付いています。
このため急に閉めようとするとハンドルが重く感じることがありますが故障ではありません。
ハンドルが重くならないように、ゆっくりと閉めてください。

●故障と点検
※点検箇所は下図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	止水栓の開度は適正か？	図示せず	止水栓の開度を調節する。
	ゴミ詰まりはないか？	①③	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？		パッキン(別売)を交換する。